

祝!開館50周年

大津市民教養大学II

紫式部と

中宮彰子

山本淳子 講演会

2025
12.14 日

13:30開場 / 14:00開演

清少納言と彼女が仕えた皇后定子が、強い信頼関係で結ばれていたことは、「枕草子」によってよく知られています。一方で、紫式部と彼女が仕えた中宮彰子については、あまり知られていないのではないでしょうか。定子と違い内向的だった彰子は、紫式部との出会いによって人生が変わったと言っても過言ではありません。女性同士の心の触れ合い、「源氏物語」の果たした役割についてお話しします。

大津市民会館 小ホール

■JR「大津駅」北口より徒歩10分 ■京阪「島ノ関」駅より徒歩3分
※駐車場には限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

全席自由
(税込)

一般 700 円 ■定員160名(先着)
※未就学児入場不可
チケット発売:10月19日(日)10:00~

主催
お申込み
お問合せ

大津市民会館
077-525-1234 9:00~21:00

〒520-0042滋賀県大津市島の関14番1号
FAX:077-525-1788 <https://www.otsu-kaikan.jp>
休館日/月回保守休館日、年末年始(12/29~1/3)
指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス

公式HP▼



講師 山本 淳子

yamamoto Junko

京都先端科学大学 国際学術研究院 教授/平安文学研究者

『源氏物語』作者・紫式部の人生と作品、またその時代背景となった一条天皇の時代を、主な研究対象としている。

1960年、石川県金沢市生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。2007年、『源氏物語の時代 一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞出版)でサントリー学芸賞受賞。2015年、『平安人(へいあんびと)の心で「源氏物語」を読む』(朝日新聞出版)で古代歴史文化賞優秀作品賞受賞。著書は受賞作のほか、『紫式部日記 現代語訳つき』(角川ソフィア文庫 2010年)『枕草子のたくらみ——「春はあけぼの」に秘められた思い』(朝日新聞出版、2017年)『紫式部ひとり語り』(角川ソフィア文庫、2020年)など多数。2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」について、WEBマガジンの「NHKステラnet」において「山本淳子の平安ドラマチック」を連載した。